

ひょうご事業改善レビューシート

様式 1

レビュー項目 (事業名)	理工系人材と県内企業とのマッチング支援 (理工系人材獲得促進事業)				部(局)	産業労働部				
					所管課	労政福祉課				
					担当班	雇用就労班				
					連絡先	078-362-3357				
開始年度	令和4年度	終了年度	未定	関連計画等	-					
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業									
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()					実施主体等				
事業目的	県内の理工系学部大学生の割合は全国より約10%低く、一方で、県内の産業構造は製造業が23.3%で全国と比べて2.5%高い。この現状に鑑み、県内外の理工系大学及び学生と県内中小製造企業とのマッチング機会を創出し、理工系人材の獲得に向けた支援を展開する。									
事業概要	(1) 県内中小製造企業と県内外の理工系大学との就職情報交換会 ①参加企業：理工系学生を必要とする県内中小製造企業（兵庫工業会と連携） ②参加大学：就職支援協定締結大学をはじめとした理工系学部を有する大学 ③内容：オンラインで大学と企業を繋ぎ、互いが求める情報を交わす。企業が大学から学生の動向や指向を聞き取ることで、効果的な人材確保の手法を見いだすことに寄与する (2) 理工系学生と県内中小製造業企業の合同交流会 ①参加企業：県内の製造業を営む中小企業 ②対象者：大学等の理工系学生（全学年、主に大学1・2年生など就職活動前の学生） ③内容：企業との交流会を開催し、理工系学生が企業を知り先輩社員と交流することで、企業の魅力を伝えることができる双方向のコミュニケーションの場を提供									
これまでの改善状況	-									
業務フロー										
事業に要するコスト	区 分		2年度決算額		3年度決算額		4年度当初予算額		5年度当初予算額	
	事業費①		0千円		0千円		7,382千円		7,385千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		委託料	0千円		0千円		7,382千円		7,385千円	
		補助金・交付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		その他	0千円		0千円		0千円		0千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(特定)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(起債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(一般財源)	(0千円)		(0千円)		(7,382千円)		(7,385千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		0千円		0千円		7,382千円		7,385千円	
	執行率((①/②)×100)		--		--		100.0%		100.0%	
	人件費③ (a+b+c)		従事人員	0.0人	従事人員	0.0人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人
			0千円		0千円		2,586千円		2,586千円	
職員給与費	a	0千円		0千円		2,253千円		2,249千円		
賞与引当金繰入額	b	0千円		0千円		174千円		172千円		
退職手当引当金繰入額	c	0千円		0千円		159千円		165千円		
総コスト(①+③)		0千円		0千円		9,968千円		9,971千円		

ひょうご事業改善レビューシート

様式 1

評価	指標名	区分	2年度	3年度	4年度	5年度	最終目標 【年度】	
			実績	実績	見込	目標		
評価	成果指標(アウトカム指標①)	目標	-	-	-	10	10人 【R5年度】	
		実績(見込)	-	-	-	(10)		
		達成率(見込)	-	-	-	(100.0%)		
	成果指標(アウトカム指標②)	目標	-	-	-	-		
		実績(見込)	-	-	-	-		
		達成率(見込)	-	-	-	-		
	成果指標(アウトカム指標③)	目標	-	-	-	-		
		実績(見込)	-	-	-	-		
		達成率(見込)	-	-	-	-		
	指標	活動指標(アウトプット指標①)	目標	-	-	100	60	60人 【R5年度】
			実績(見込)	-	-	(29)	(60)	
			達成率(見込)	-	-	-	-	
活動指標(アウトプット指標②)		目標	-	-	-	-		
		実績(見込)	-	-	-	-		
		達成率(見込)	-	-	-	-		
活動指標(アウトプット指標③)		目標	-	-	-	-		
		実績(見込)	-	-	-	-		
		達成率(見込)	-	-	-	-		
目標		終期設定	(有) (合同交流会の参加者達成率50%未満)					無
		改善基準	-					

自己評価	評価の視点	評価	目標に対する達成状況(総合的評価)
	自己評価	○有効性(評価指標に対する実績) ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など	就職情報交換会では、参加大学から「知らなかった優良企業と出会えた」との意見が多数あり、企業と大学間の新しいパイプ作りに有効であったといえる。企業と学生の交流会では、理工系学生にとって、濃い企業情報収集の場であったとして、高い満足度を得られた。(学生アンケート:満足度100%)
○効率性(最小のコストで最大の効果) ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか など		参加大学を集める際、理工系学部を有する県外大学とのパイプが少なく、個々の教授に当たるなど、非効率的な手法であった。	

評価	課題・今後の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 説明 (事業目的を継続する一方で、合同交流会への学生参加者数の増加を図るため、学生に目を向けてもらえるイベントや、広報の仕方について見直すとともに、大学との連絡の取り方など、業務の効率化を実施)

外部委員会意見

- ・ICTの活用が遅れている旧態依然とした企業に学生は魅力を感じない。体制整備など企業側のマインド改革にも取り組むべきである。
- ・学生と企業の交流会には、参加希望企業だけでなく、県が財務状況等も踏まえて学生にアピールできると思える企業を目玉企業と呼んでくことも検討すべき。
- ・目玉企業に交流会に参加してもらうことで、その企業のよい取組を他企業へ横展開する場としても活用出来るのではないかな。
- ・県内の理工系学部のある大学ごとに会場を設けてみてはどうか。その際は、各企業のその大学OB/OGにも参加してもらうべきである。
- ・理工系人材にこだわらず、リスクリングした文系学生でもいいのかということ、企業には改めて検討を求められたい。

改善結果

- ・参加企業について、兵庫工業会や受託企業と相談しながら、学生の関心の動向や、各種顕彰等企業の取り組み状況を調査し、SDGs等企業の経営課題への積極的な取組姿勢を踏まえたうえで、集客を意識しつつ選定する。
- ・イベント会場について、今年度11月に県立大学工学キャンパスで実施した。OB/OGの参加も促しており、11月実施分の結果を受け、ブラッシュアップして取り組んでいく。
- ・ICTの活用とリスクリングについては別事業(DX実践・人材育成支援事業/ものづくり分野の女性就業促進事業)で対応。